

ゴールまでタスキをひなぐ

第14回小学校対抗駅伝大会

12月7日(日)、小学校対抗駅伝大会が、ふれあい坂田池公園を会場に行われ、横芝町・松尾町・芝山町・蓮沼村・光町の小学校から5、6年生の男女200名が参加しました。

この大会は、総武中央ライオンズクラブ(吉岡昭会長)が近隣町村の子どもたちに、スポーツを通じて交流を深めてもらうと行っているもので、今回で14回目となります。



先頭を走る横芝小6年Aチーム

レースは、坂田池を周回するコースで行われ、子どもたちはゴールまでタスキをつなぐと、会場に集まった先生や父兄の声援を受けながら走りました。

また、レース終了後にはライオンズクラブ(吉岡洋子会長)のみなさんから甘酒のサービスもあり、冷えた体を温めていました。

町内の主な結果は次のとおりです。

—敬称略—

- 団体(5年) 準優勝 横芝小学校Aチーム
- 団体(6年) 優勝 横芝小学校Aチーム
- 第3位 横芝小学校Bチーム
- 区間賞(5年) 2区 川島 広貴(横芝小A)
- 区間賞(6年) 2区 川島 弘樹(上堺小)
- 6区 成田 拓真(横芝小)
- 最優秀選手(6年) 6区 成田 拓真(横芝小)

横芝勢が大活躍

横芝少年剣道大会



優秀選手となった横芝中の園田君(右)

第14回横芝町少年剣道大会が、12月14日(日)横芝敬愛高校及び横芝小学校体育館を会場に開かれ、県内各地域から77チーム、約540名の剣士たちが参加して熱戦を繰り広げました。

この大会は、町教育委員会が主催し、横芝ロータリークラブの後援を受けて開催しているもので、剣道を通じて子供たちの親睦を深めることと、健康な心身をつくることを目的としています。

今年は、昨年と比べて参加チームが大幅に増えたため、午前中に練成大会を、そして午後1時から試合が開始されました。

試合は、団体戦のみが行われ、横芝町の選手は中学生が男子優勝、女子準優勝、そして小学生は第3位と健闘しました。

その他、優秀選手として横芝中学校園田高志君と平野恵理さんが選ばれました。

横芝小の児童が アジアの留学生と交流会

11月29日、横芝小学校に千葉県内に住むアジアの国々からの留学生10名が訪れ、同校の子どもたちと日本の歌や遊び、そして、留学生たちが子どもの頃に遊んだ祖国の遊びなどで交流を深めました。

この交流会は、子どもたちが直接外国人と交流することで、日本と異なる文化や価値観、豊かな国際性を身に付けさせようと、県教育委員会が主催して行われたもので、留学生のみなさんは、午前9時、全校生徒と体育館で対面。歓迎セレモニーのあと、留学生のみなさんが、韓国のすもうや香港の指人形など、それぞれの国の文化を披露。また、子どもたちと一緒に行ったお手玉やおはじき、福笑いなどでみなさん楽しい一日を過ごしました。

横芝小の子どもたちも、この交流会でアジア各国の文化の違いを身をもって体験したようでした。



指人形で自己紹介する香港の留学生